

令和5年度  
外部評価報告書  
＜概要版＞

令和6(2023)年3月  
八戸工業大学外部評価委員会



## 目 次

I. 八戸工業大学外部評価の総評と提言 . . . . .	1
II. 個別の評価結果及び各委員からの評価とコメント . . . . .	2
III. 八戸工業大学外部評価委員会の実施について . . . . .	3
IV. 八戸工業大学外部評価委員会 記録 . . . . .	5
V. 資料一覧 . . . . .	7

## I. 八戸工業大学外部評価の総評と提言

令和5年度の八戸工業大学外部評価委員会は、令和6年3月5日（火）に八戸工業大学大会議室にて対面形式により開催された。事前資料とともに提示された評価項目について、大学側からの説明があり、それを踏まえて質疑応答が行われた。外部評価委員は、事前に送付された資料を基に評価したうえで、委員会当日の説明と協議により総評とした。

以下、外部評価委員会の総評および提言を示す。

### 八戸工業大学 3つのポリシーを踏まえた取り組みの自己点検・評価活動について

八戸工業大学は、産業を支える技術者の排出を使命とし、教育をおこなってきた。排出される人材に対する産官からの期待と要望は大きい。しかしながら、少子化や人口流出といった社会状況から、大学を取り巻く環境も厳しさを増している。

このような非常に厳しい状況下であっても、八戸工業大学では、ディプロマポリシーに掲げる人材育成の達成に向け、カリキュラムポリシーに則った教育を展開し、学生の満足度を向上させている。また、一定の入学者を確保するというアドミッションポリシーを掲げ、入試の妥当性についても検証している。この継続的な一連の活動の結果が、卒業する学生の満足度の向上に繋がっていると推測される。学修成果の可視化における各種調査結果の分析においても、毎年度、学生の満足度や達成度が上昇している状況が確認でき、継続的な向上が見られる。

一方で、社会の現状に応じた教育体制の検討や学修成果の可視化により課題視された項目への対応については、今後の改善に期待するものである。

ただし、点検・評価活動に関しては、各委員会組織を構成し実施体制を確立したうえでPDCAを回し、実行・チェックしており、全般的には非常にいい教育を行っていると評価する。これは、卒業生が企業から一定の評価を得ていることも、大学の教育の成果であり、3つのポリシーが連動して動いている結果であるとうかがえる。

これらのことから、八戸工業大学では3つのポリシーを踏まえた取り組みの自己点検・評価活動について、詳細かつ適正に実施していることが確認でき、今後の改善が望まれる事項を含め、概ね高く評価するものである。

令和6年3月31日

八戸工業大学外部評価委員会  
委員長 土屋 範 芳

## II. 個別の評価結果及び各委員からの評価とコメント

### 1. 八戸工業大学 自己点検・評価活動状況について

- A (3点) 適切、十分である
- B (2点) 部分的な改善が望まれる
- C (1点) 不適切、不十分であり、早急な改善が必要

評価：2.4点 (各評価員の平均)

#### 評価ポイント (改善点・要望等含む)

- 3つのポリシーを明確にし、それに沿った入学者選抜、教育、卒業認定をしていることは高く評価できる。
- コロナ禍においても、授業取り組み度関係の指標が上昇していることは高く評価できる。
- PDCA サイクルをそれぞれ点検・評価する組織体系についてより明示的に示すよう改善を望む。
- 3つのポリシーを踏まえ、学生の学修成果や教員の教育成果が良く可視化され、データの収集、分析も実施されており高く評価できる。
- 今後、面接の評価が年々高くなっている傾向に関し、平均的な学生はB評価とする評価基準の統一に期待する。また、授業評価アンケートでポイントが減少傾向にあるいくつかの項目の改善を期待する。
- 入試選抜ごとだけではなく、GPA 分布の入試選抜による分布を示していただければ理解が深まる。
- 企業を対象とした、貴学の卒業生に関するアンケート調査の実施により、他大学卒生との比較及び企業が重要視する項目を把握し、将来の社会を牽引する人材の育成に向けて、各種取り組みの改善を図っていることは高く評価できる。今後は、当アンケートの実施時期や期間などの見直しを行い回答率の向上が図られることを期待する。
- 二つの評価項目の決定過程及び複数のポリシー及び八工大中長期目標等を背景にした多くのデータからの自己点検・分析については十分に評価できるものと判断する。しかし、分析結果からの「評価」については、考察・対策への言及も必要である。
- 単に学力不足あるいは学業不振の理由のみで退学する学生が少ないことから、課題を抱える学生への地道なアプローチの努力が奏功しているものと思われる。
- 各種選抜（総合型・学校推薦型・一般）における検証については、おおむね妥当なものであると見てよいと判断する。更に、卒業生アンケートの、特に採用企業評価について、ほぼいずれも年を追うごとに上昇しており、積極的取組の成果が表れた結果と思われる。

### Ⅲ. 八戸工業大学外部評価委員会の実施について

#### 1. 八戸工業大学外部評価委員会規程

##### 八戸工業大学外部評価委員会規程

令和元年12月19日 制定（自己点検・評価運営委員会）  
令和4年 1月27日 改定（自己点検・評価運営委員会）

##### （目的）

第1条 この規程は、八戸工業大学自己点検・評価取扱要綱第5条第3項に基づき、八戸工業大学外部評価委員会（以下、「委員会」という。）の組織および運営について、必要な事項を定める。

##### （業務）

第2条 委員会は、評価項目に関する自己点検の報告を受け、本学の教育研究水準の向上および組織ならびに運営活性化に資するための提言を行う。

##### （評価項目）

第3条 八戸工業大学自己点検・評価運営委員会（以下、「運営委員会」という。）は評価項目を学長に提案し、学長が決定する。

##### （組織の構成）

第4条 委員会委員は、学校法人八戸工業大学の役員および教職員ではない、次の各号に掲げる者から学長が選考し、委嘱する。

- 一 大学等の教育機関の教員
  - 二 八戸工業大学の所在する地域の関係者
  - 三 前各号に定める者以外に、大学に関して広くかつ高い見識を有する者
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 3 委員長は、委員の中から学長が指名する。
  - 4 副委員長は、委員長が指名する。
  - 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
  - 6 委員会には、学校法人八戸工業大学の役員及び教職員より、点検・評価に責任を持つ専任教職員が必要に応じて陪席する。

##### （委員会の運営）

- 第5条 委員会は、学長の要請を受けたとき、委員長が招集する。
- 2 委員会は、委員の委員会は、委員の過半数の出席がなければこれを開くことができない。
  - 3 委員長は、議長となる。
  - 4 委員長は、評価の結果および改善を求める提言事項を外部評価報告書にまとめ、学長に提出する。

##### （守秘義務）

第6条 委員は外部評価に関わる業務を遂行するにあたり知り得た事項について、これを第三者に漏洩してはならない。

##### （事務局）

第7条 委員会の事務局は、八戸工業大学社会連携学術推進室が行う。

##### （既定の改廃）

第8条 この規程の改廃は、運営委員会において、決定する。

##### 附 則

この規程は、令和元年12月19日から施行する。

この規程は、令和4年1月27日から施行する。

## 八戸工業大学外部評価委員会

### 2. 委員一覧

令和6年3月5日現在

#### 八戸工業大学外部評価委員会委員名簿

- ・委員 土屋 範芳 八戸工業高等専門学校 校長  
(委員長)
- ・委員 佐々木 郁夫 八戸市 副市長
- ・委員 東 康夫 一般社団法人 青森県工業会 会長  
(東北化学薬品株式会社 取締役会長)
- ・委員 八木澤 聡 公益社団法人日本技術士会  
東北本部 副本部長 青森県支部 支部長  
(東信技術株式会社 専務取締役)
- ・委員 種市 朋哉 青森県立八戸北高等学校 校長

(順不同)

### 3. 八戸工業大学外部評価委員会

#### 令和5年度 八戸工業大学外部評価委員会

日時: 令和6年3月5日(火) 13:30~14:30

会場: 八戸工業大学 2号館3階 大会議室

#### < 次 第 >

1. 学長挨拶 : 八戸工業大学 学長 坂本 禎智
2. 委員長挨拶 : 八戸工業高等専門学校 校長 土屋 範芳
3. 令和5年度八戸工業大学外部評価委員会 (進行: 土屋 範芳)

- 1) 3つのポリシーを踏まえた取り組みの点検・評価活動 について (質疑含め 35分)
  - 学修成果について . . . 学長補佐・学務部長 阿波 稔 (10分)
  - 入学者選抜について . . . 入試部長 高橋 晋 (10分)

- 2) その他

以 上

#### IV. 八戸工業大学外部評価委員会 記録

- 日時 : 令和6年3月5日(火) 13:30 ~ 14:45
- 開催形式 : 対面・書面
- 出席 : 委員長 土屋 範芳 八戸工業高等専門学校 校長  
委員 東 康夫 一般社団法人 青森県工業会 会長  
(東北化学薬品株式会社 取締役会長)  
" 八木澤 聡 公益社団法人 日本技術士会東北本部 副本部長  
青森県支部 支部長  
(東信技術株式会社 専務取締役)
- 書面出席 : 委員 佐々木 郁夫 八戸市 副市長  
" 種市 朋哉 青森県立八戸北高等学校 校長
- 陪席 : 八戸工業大学 坂本 禎智 (学長)  
" 金子 賢治 (学長補佐・地域産業総合研究所長・社会連携学術推進室長)  
" 阿波 稔 (学長補佐・学務部長)  
" 高橋 晋 (入試部長)  
" 鈴木 寛 (図書館長・社会連携学術推進室次長・入試部次長)  
" 大室 康平 (社会連携学術推進室次長)  
" 大野 和弘 (事務部長・社会連携学術推進室次長)  
" 古川 純也 (社会連携学術推進室課長代行)  
" 西村 恵 (社会連携学術推進室)  
" 黒滝 泰世 (社会連携学術推進室・地域産業総合研究所)  
" 菅野 優子 (地域産業総合研究所)
- 資料 : 1. 次第  
2. 参加者名簿  
3. 座席表  
4. 八戸工業大学 外部評価委員会規程  
5. 3つのポリシーを踏まえた取り組みの点検・評価活動 について (一式)  
6. 学修成果点検・評価 当日追加資料 5, 6  
7. 事前評価結果集計一覧
- 進行 : 社会連携学術推進室 西村 恵

1. 学長挨拶 : 坂本 禎智  
外部評価委員会の目的や大学の現状等を交えて、委員へのお礼と挨拶が述べられた。
2. 委員長挨拶 : 土屋 範芳  
八戸地域における産業界の現状と展望、高等教育機関の連携と今後の教育への考察を交えて、挨拶が述べられた。

3. 令和5年度八戸工業大学外部評価委員会

議事進行 : 委員長 土屋 範芳

1) 3つのポリシーを踏まえた取り組みの点検・評価活動 について

学修成果について 学長補佐・学務部長 阿波 稔

八戸工業大学における3つのポリシーの位置づけと点検評価活動について、全体的な説明ののち、学修成果や教育成果の可視化とそのデータに基づく点検・評価活動について、資料を基に説明がなされた。

入学者選抜について 入試部長 高橋 晋

八戸工業大学の入試における選抜方法等について、入学試験の成績や高等学校での評定平均値、入学後のGPA値との相関などを基にした、妥当性の検証に関する資料を基に説明がなされた。

2) 講 評

八戸工業大学では、毎年度、学生の満足度や達成度が上がっているという状況が、調査結果からもうかがえ、学生の授業評価や卒業生の達成度評価指標が、3年度にわたって継続的に向上している。

入試を取り巻く状況が非常に厳しい中であっても、ディプロマポリシーに掲げる人材育成の達成に向け、カリキュラムポリシーに則った教育を展開し、学生の満足度を向上させている。また、一定の入学者を確保するというアドミッションポリシーを掲げ、入試の妥当性についても検証している。これら一連の活動の結果が、卒業する学生の満足度の向上に繋がっていると推測される。異文化理解力や外国語コミュニケーション・スキル等、課題となる項目も見受けられるが、改善の余地があると捉えられる。

また、企業に実施している卒業生に関するアンケート結果において、一定の評価をいただいているということにおいても、大学の教育の成果であり、3つのポリシーが連動して動いているものとして評価できる。

3つのポリシーに係る点検・評価活動に関して、各委員会組織を構成し、その組織においてPDCAを回し、実行・チェックしており、全般的には非常にいい教育を行っている」と評価する。

今後においては、大学を取り巻く環境は厳しい状況になることが予想されるが、産業界とともに考え、それに対する教育をどのように行っていくかということが喫緊の課題であると考える。

以上で議事が終了した。

## V. 資料一覧

### ●点検・評価資料

- ・外部評価委員会評価項目について
- ・自己点検評価結果「3つのポリシーを踏まえた取り組みの自己点検・評価」
  - 学修成果 【学習成果点検・評価】  
教育改革専門委員会 教学データ分析・整理
  - 入学者選抜 【入学者選抜点検・評価】  
令和5年度 入試 IR 入試妥当性の検証

### ●根拠資料

- ・学修成果の可視化に関する自己点検実施状況
  - 【資料1】GPA分布、成績評価分布  
留年せずに4年間で卒業した学生の卒業時の累積GPA分布と2022年度在籍学生の成績評価分布
  - 【資料2】授業外学習時間  
1週間あたりの授業外学修時間に関する経年変化
  - 【資料3】授業評価アンケート経年変化  
全科目を対象に授業評価アンケートを実施した結果の経年変化
  - 【資料4】満足度アンケート  
4学年時後期1月～2月に実施する満足度調査アンケート集計結果
  - 【資料5】卒業生アンケート経年変化  
卒業生対象アンケート結果における卒業生主観評価と企業評価の経年変化
  - 【資料6】卒業生アンケート集計結果  
他大学卒生との比較、及び企業が重要視する20項目の修得因子から本学学生に向けた教育活動等の改善を検討する目的として実施した令和5年度集計結果

### ●参考資料

- ・根拠となる各規程と基本計画他
  - 【参考資料1】八戸工業大学ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー
  - 【参考資料2】八戸工業大学アセスメント・ポリシー
  - 【参考資料3】八戸工業大学中長期目標・基本計画（HIT Grand Design 55）  
＜概要版＞
  - 【参考資料4】R5自己点検・評価（内部質保証）  
内部質保証のための学内システム・組織（PDCAサイクル）一覧  
※令和2年度時点表記、以降継続実施
  - 【補足資料】関連用語集